

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

| 事業の概要 | | 根拠法令・規程等 | |
|----------|---------------------|---------------|--------------|
| 事業開始年度 | 昭和22年～ | 公職選挙法 | |
| 大項目 基本目標 | 06 健全で自立したまちづくり | 問 担当課(室) | 選挙管理委員会事務局 |
| 中項目 基本施策 | 01 簡素で効率的な行政運営 | 合 職・氏名 | 次長 青木克行 |
| 小項目 施策 | 19 その他事務管理(選挙管理委員会) | 電 話 | 0869-64-1838 |
| 事務事業名 | 02 選挙執行 | このシート作成に要した時間 | 4.0 時間 |

| 事業の目的 | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| 対象(誰・何に対して) | 備前市内の有権者 31,723人(平成25年6月2日登録) |
| 目的(何のために) | 各選挙を公正かつ適正に執行する。 |
| 事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか) | 選挙の適正な執行と迅速な開票。また、選挙人への周知による投票率の向上。 |

| 事業の実績 | | |
|--------------|---------------------------------|-----|
| 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 |
| 県知事選挙執行 | H24.10.28執行の岡山県知事選挙に係る事務を管理する。 | |
| 海区漁業調整委員選挙執行 | H24.8.2執行の海区漁業調整委員選挙に係る事務を管理する。 | |
| 衆議院議員選挙執行 | H24.12.16執行の衆議院議員選挙に係る事務を管理する。 | |
| 市長選挙事業 | H25.4.14執行の市長選挙に係る事務を管理する。 | |

| 決算額 | 事業費等 | | 単位 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度実績 |
|-----|--------|---------|----|----------|----------|----------|
| | 直接事業費 | 必要人員(人) | 千円 | 49,569 | 1,160 | 37,054 |
| | 事業費 | 人件費 | 千円 | 1,988 | 16,031 | 0.31 |
| | 事業費 | 費 | 千円 | 65,600 | 2,656 | 2,088 |
| 財源 | 国 | 支出金 | 千円 | 19,958 | 992 | 35,890 |
| | 受 | 益者負担 | | | | |
| | 繰 | 入金 | | | | |
| | 市 | 債 | | | | |
| | その他() | | | | | |
| | 一 | 般財源 | | 45,642 | 1,664 | 17,078 |
| | 受 | 益者負担比率 | % | - | - | - |

| 結果指標 | 結果指標名 | | 単位 | 平成22年度実績 | 平成23年度実績 | 平成24年度実績 |
|----------|-------|----|-------|------------|------------|-----------|
| | 結果指標量 | 説明 | | 市議選 | 参院選 | 県議選 |
| | 対前年比 | % | | 24,069 | 20,041 | 準備 |
| | 活動コスト | 円 | | 29,610,781 | 17,081,466 | 2,876,906 |
| 単位当たりコスト | | | 1,230 | 852 | - | |

| 事業の成果 | | 年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度目標値 |
|----------|--------|---------|--------|--------|--------|-----------|
| 投票率 | 成果指標名 | 年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度目標値 |
| | 目標値(A) | 80 | 70 | - | 70 | - |
| | 実績値(B) | 74.46 | 161.38 | - | - | - |
| 達成率(B/A) | 93.08% | 187.69% | - | - | - | |

| 事務事業の評価 | | 該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください | Check |
|---------|----------|--|--|
| 妥当性の評価 | 市の関与の妥当性 | 市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある | 妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |
| | 市民ニーズ | 市民・団体等から要望・要請が強い | A |
| 効率性の評価 | コスト | 単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている | 効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |
| | 目的達成度 | 成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している | 有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |

| 進行年度(H25年度)の改革改善内容 | |
|--------------------|---|
| 状況 | 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了 |
| 説明 | いずれの選挙も開票事務の迅速かつ公平性が求められる。開票所の環境向上を図り、効率のよい事務を行う。 昨年、試行的に行った模擬投票(1校)の実績を見直し、市内の各中学校で模擬投票を実施する。 |

| 総合評価 | |
|--|---|
| 投票所の環境向上を考慮しながら、投票所の統廃合を引き続き検討する必要がある。また、H22年度の投票所の統廃合後も、要望があれば、引き続き選挙人への投票所変更の周知が必要である。 | 総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い |

| 平成26年度の方向性・取組目標 | |
|-----------------|------------------------------|
| 方向性 | 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了 |
| 取組目標 | 投票所、期日前投票所の環境向上を検討する。 |

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を留意しながら

Plan

Do

Check

Action